

平成23年度(10月～12月)

# 市の主要事業のあゆみ

## エコバレーの推進

《平成23年10月～12月取組み》

### 庁内アクションプランの策定

環境都市「豊岡エコバレー」を実現するため、庁内アクションプランを策定しました。

〔豊岡エコバレーの定義〕

①コウノトリも暮らしの中心にいるまち

②エコで市民が豊かになるまち

③みんなでエコに取り組むまち

### 庁内職員研修会の開催(10月24～31日)

豊岡エコバレーを推進するためには、市民の皆さんや事業所・企業の皆さんと一体となつて、全市的な活動へ展開していかなければなりません。

そのためには、まず市職員がエコバレーの定義を理解し、目指す目標に向け意識の統一化を図る必要があります。職員研修会を開催(7会場9回)しました。

再生可能エネルギー利用に積極的に取り組んでいきます。

### 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量取引の実施

シルク温泉やまびこに整備した木質ペレットボイラーにより削減できたCO<sub>2</sub>を企業に売却し、70万7700円に現金化(市の収入)しました。

CO<sub>2</sub>排出量取引による現金化は、県内自治体では初めてのことです。

《1月以降の予定》

環境都市「豊岡エコバレー」を実現するため、電気自動車

を普及させる必要があります。そこで、シルク温泉やまびこ駐車場に急速充電スタンドを設置します。

東京アンテナショップ

運営事業者と協力し、引き続きチャレンジ商品の導入、オンラインショップの活用など積極的に売り上げアップを図ります。

バイオマス、太陽光などの再生可能エネルギー利用に積極的に取り組んでいきます。

《1月以降の予定》

環境都市「豊岡エコバレー」を実現するため、電気自動車

を普及させる必要があります。そこで、シルク温泉やまびこ駐車場に急速充電スタンドを設置します。

東京アンテナショップ

運営事業者と協力し、引き続きチャレンジ商品の導入、オンラインショップの活用など積極的に売り上げアップを図ります。

バイオマス、太陽光などの再生可能エネルギー利用に積極的に取り組んでいきます。

## 生物多様性関連事業の推進

《平成23年10月～12月取組み》

### 生物多様性地域戦略検討委員会

11月1日設置(市内NPOなどの代表者、学識経験者、国県職員、高校生6人など18人で構成)

12月23日、市内の生物多様性保全の取組み事例を学ぶ勉強会を開催

豊岡の生物多様性をどう守り生かしていくかなど、すぐに実践・行動につながるような戦略を市民の皆さんの参加・協力を得ながら来年度にかけて策定する予定です。

独立行政法人国際協力機構(JICA)草の根技術協力事業「コウノトリが結ぶ環境協力」

県と市では、7月の中国・浙江省慈溪市庵東鎮への専門家チーム派遣を踏まえ、10月8～11日にも7人(うち豊岡関係者4人)を同地へ派遣

10月は、中国での実践カリキュラムや環境教材の作成に向け、モデル小学校の小

学生や教諭に環境教育の授業を実施

ラムあるき3(11月13日)ラムサール条約湿地登録を目指す「円山川下流域」の自然や文化を見つめるウォーキングイベントを開催(来日山山頂から「円山川・川霧・ご来光」を眺望。約40人参加)

コウノトリKIDSクラブの全国行事への参加

10月8～9日、子どもラムサール全国湿地交流会(鳥取県米子市)に7人参加

11月19～20日、「生きものの人・共生の里を考えるシンポジウム」(山口県周南市)に6人参加

《1月以降の予定》

生物多様性地域戦略検討委員会

2～3月、戦略の基本方向や実践例などの意見交換を行う予定です。

JICA事業「コウノトリが結ぶ環境協力」

2月、中国・浙江省慈溪市庵東鎮から研修員チームが来訪。市内小学校の授業やコウノトリ育む農法などを視察し、意見交換なども行う予定です。



## 新庁舎建設事業の推進

新庁舎建設工事では、周辺地域の皆さんに大変ご迷惑をお掛けしています。



▲現本庁舎のジャッキアップ作業の様子

### 《平成23年10月～12月取組み》

#### 工事の状況

##### 新庁舎建築工事

庁舎を支える杭の打設と、土の掘削・搬出を行いました。

##### 現本庁舎工事

土間コンクリートの解体後、曳家移転後の基礎となる部分を新たに構築した上で、既存基礎を切り離し、ジャッキアップしました。

《1月以降の予定》

地下に免震装置を取り付けるなどの基礎工事を行い、現本庁舎を曳家します。2月には曳家見学会を行います。

## 公共交通利用促進

《平成23年10月～12月取組み》

■全但バス「神鍋線上限200円バス社会実験」

○神鍋線上限200円バス社会実験出発式(10月1日)

運行事業者や地元など関係者が参加して行いました。

○プロモーションビデオ制作

バスを見送る沿線住民やにぎわいをみせるバス車内、出発式の様子を収めたプロモーションビデオを制作し、市のホームページや動画投稿サイト「YouTube」で公開しています。

○乗込調査を実施(3回)

○利用実績報告・利用促進策打合せ会(11月8日)

利用状況を分析するとともに、今後の利用促進策について地元利用促進団体と情報交換しました。

■三省堂書店の文庫本ブックカバーとしおりに、豊岡のイメージ広告を掲出(10月1～31日)

・発行部数 12万部

■大阪環状線車内広告ジャック(10月16～28日)

JR大阪環状線の1編成(8車両)を、豊岡産をテーマにした車内広告で埋め尽くし、豊岡のPRを行いました。

■「チクタク資母」運行地域拡大

地域の乗合タクシー「チクタク資母」は、10月から高龍寺区・坂野区にも運行を拡大しました。

JR大阪環状線の1編成(8車両)を、豊岡産をテーマにした車内広告で埋め尽くし、豊岡のPRを行いました。

■JR豊岡市民号(11月6～7日)

市民相互の交流と鉄道の利用促進を図るため、JR豊岡市民号「山陰海岸ジオパーク・ゲゲの鬼太郎 皆生温泉への旅」を運行しました。

■お披露目式(11月8日)

環境性能や燃費が大きく向上した最新型バスが、県北部で初めて市内路線に導入されました(市は車両の購入費の一部を補助)

■e通勤プロジェクト

平成21年10月から、マイカー通勤からバス・鉄道による通勤への転換を推進しています。

《1月以後の実施・予定》

■上限200円バス社会実験

一層のPRや施設協力による割引サービス拡大、地域資源・イベントを活用した利用促進などに取り組みます。

## スマートウェルネス 豊岡構想の推進

《平成23年10月～12月取組み》

■歩いて暮らすまちづくり構想(案)を検討委員会が答申

8月から市民代表による豊岡市健康まちづくり構想等検討委員会で構想案の策定作業を進めていきました。委員会では、より市民が理解しやすい構想とするため、構想名称を「歩いて暮らすまちづくり構想」とし、構想(案)を12月に市長に答申しました。

この構想は、市民誰もが歩いて暮らすことに象徴される健康づくりに参加することで、健康で生き生きと安心して暮らし、併せて地域の活力を向上させるため、全般に健康の視点を取り入れたまちづくりを進めようとするものです。

《1月以後の実施・予定》

■「歩いて暮らすまちづくり構想・条例」(仮称)

同構想を策定します。

また、全ての市民が趣旨を共有し推進するため、その基本理念、市民や団体、行政の役割などを示す「歩いて暮らすまちづくり条例」(仮称)の

制定を目指します。

■健康ポイントの学校寄付

12月末までに申請のあった健康ポイントの寄付分を取りまとめ、学校へ届けます。



岡田正智(中央)と渡辺次子(右)が市長に答申書類を手交している様子。岡田正智(左)と渡辺次子(右)が市長に答申書類を手交している様子。

## 中心市街地活性化

昨年8月に策定した「豊岡市中心市街地活性化基本計画」の五つのリーディングプロジェクトの一つ「市役所南庁舎別館等の利活用事業」整備構想を本年度中に策定します。

■市役所南庁舎別館等利活用事業

南庁舎別館は、昭和9年に銀行として建築された「近代化遺産」であり、現本庁舎とともに落ち着いた街並みを演出しています。

これらを市街地の「新たな顔」として活用することにより、まちなかへの集客力向上を図り、回遊性を高め、地域への波及効果を目指します。

○「市役所南庁舎別館等利活用プロジェクト会議」(中心市街地の商業者やまちづくり活動関係者、市などで構成)を設置

整備構想の検討を進めていきます。

《平成23年10月～12月取組み》

■市役所南庁舎別館等利活用プロジェクト会議

10月27日、11月24日、12月19日開催

・活用方針(案)協議

市民活動の拠点、イベントスペース、商業空間などとして整備します。



▲南庁舎別館活用イメージ